

## 令和6年度 第2回 聴覚障害者センター指定管理者運営委員会協議の概要

- 1 日 時：令和6年7月27日（土）  
開会：13時25分 閉会：14時35分
- 2 場 所：岡山県聴覚障害者センター研修室
- 3 出席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 東 久示、音田 守利、中務 雅裕  
岡山県難聴者協会 森 俊己、竹上 敦典、谷口 進  
欠席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 竹村 真明
- 4 会議に出席した者  
岡山県聴覚障害者センター 所長 西條 保幸
- 5 情報保障：岡山県聴覚障害者センター職員4名、岡山県要約筆記団体連絡会2名
- 6 報告事項
  - (1) 令和6年5月・6月の月例報告
  - (2) 令和6年6月までの各種事業の実施状況と計画
  - (3) 現任研修（要約）の実施報告
  - (4) 現任研修（手話）の実施報告
  - (5) のびのびこどもひろばの開催について
  - (6) TRS 利用登録会の開催について
  - (7) 遠隔要約筆記研修会の開催について
  - (8) 災害救援専門ボランティア研修会の開催について
- 7 その他
  - (1) 次回以降の運営委員会の日程
- 8 協議の概要（○は委員の発言、□はセンターの発言）
  - ① 研修室・会議室の貸出状況について
    - 昨年度と比較して利用者数は増加しているが研修室・会議室の貸出状況はどうなっているのか。
    - 利用者数の増加に伴い、貸出頻度も増加していると思うが、週末の利用状況が好調なのに比べて平日の利用が比較的少ないという状態に変わりはない。

- ② スマホ教室の開催について
- スマホ教室の開催は高齢者にとっては非常に有り難い。今年度の開催日程は決まっているのか。
  - 開催日程や実施内容など具体的な事項はまだ決めていない。決定次第、広報するように心がけたい。
- ③ 自立支援拠点活動について
- 自立支援拠点活動であるが、県北実施するためには関係者の交通費が必要であり、実施する上で予算的な問題があると認識している。
  - 今年度、新見市で聞こえの相談会を実施していただけたということで感謝している。自立支援拠点活動は各団体の年間予算が限られており、その枠内での実施になることからいろいろ問題があることは承知している。その都度、検討を重ね、問題をクリアしながら進んでいければと考えている。
- ④ 災害救援専門ボランティア研修について
- 研修開催通知は専任手話通訳者には行なっているのか。専任手話通訳者は地域の状況を良く把握しており、この研修には是非参加していただきたい。
  - 各市町の専任手話通訳者にも案内している。
- ⑤ のびのびこどもひろばについて
- キッズ・ファースト（難聴児・学習障害児・発達障害児を対象にした、児童発達支援・放課後等デイサービスを実施する施設）には案内を出したのか。
  - 今までは出していないが、対象者がいれば当然案内することになる。
  - 参加者数はどれぐらいか。
  - ざっと、聴覚障害児10人、聞こえる児童10人、保護者10人で合計30人程度である。
- ⑥ 意思疎通支援者派遣事業の運営委員会について
- 国が示した意思疎通支援事業モデル要綱には当事者団体や支援団体からなる運営委員会の設置が謳われているので、その設置を岡山県に要望したが聴覚障害者センター運営会議がそれにあたるとの回答を得た。
  - 国のモデル要綱に基づいて岡山県が意思疎通支援者派遣等事業実施要綱を定めている。しかし、県の実施要綱には運営委員会の設置は規定されていないと思うが。
- ⑦ 電話リレー利用登録会及び災害救援専門ボランティア研修のPRについて
- 聴覚障害者福祉協会にもチラシや案内状を発出しているのか。

- 電話リレーについては県北での開催から美作支部にチラシを送付した。聴覚障害者福祉協会にもチラシを持参する。また災害救援専門ボランティア研修については関係団体にはメールで案内する。
- ⑧ 今後の運営委員会の日程について
- 今回から一部委員の交替があったが次回以降の運営委員会の開催日程は変更しない。出席できない場合は各団体長及びセンター長へ連絡をしてほしい。